新年のご挨拶・第５回定例会

新年のご挨拶

山ノ内町議会議長　西　宗　亮

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、素晴らしい夢と希望に満ちた新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。また、旧年中は町議会に対しまして、一方ならぬご支援とご理解を賜り厚くお礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は全国的に異常気象や大規模な自然災害が多く発生し、多難な年でありました。当町でも台風による被害があり、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

さて、毎年開催しております「議会報告会」は、各区並びに公民館等のご共催をいただき、諸般の事情で11月を中心に実施させていただきました。夜や休日のところもありましたが、大勢の皆様にお越しいただき、地域に密着した課題から将来に向けて取り組むべき課題まで様々なご意見、ご提言をいただきまして、誠にありがとうございました。

今年は四年に一度の統一地方選挙で、町議会議員の選挙は四月に予定されますが、任期満了まで気を緩めることなく職責を全うしてまいる所存でございます。

結びに、今年は新しい元号に代わりますが、皆様におかれましては、災いがなく、穏やかで実りの多い年となり、ますますご健勝ご多幸でありますようにご祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

全小学校にエアコン設置 事業費７６００万円

平成30年第５回議会定例会は、11月30日から12月14日までの15日間にわたり開催されました。

町側からは、専決処分の報告１件、補正予算案８件、条例の一部改正４件、請負契約の変更１件、買取契約の締結１件、北信保健衛生施設組合規約変更と財産処分の協議、町道の廃止１件および認定１件が提案され、議会側からは、条例の一部改正１件を提案しました。慎重審議ののちそれぞれ受理、可決しました。なお、条例の一部改正１件については継続審査としました。

４、５、７日に行われた一般質問には12議員が登壇しました。

請願陳情については、陳情２件、要望１件を受理し、うち陳情１件を採択し、意見書の提出を可決し、残りの陳情１件および要望１件については継続審査としました。

30年度一般会計補正予算（第４号）

歳入歳出それぞれ９３８７万円を追加し、予算の総額を72億９９９２万円とするものです。

〈歳入の主なもの〉

国庫支出金
・公立学校施設整備他　１７８０万円
町債
・学校教育施設等整備事業　５８３０万円
財政調整基金繰入金　△２億３０９２万円
前年度繰越金　２億４７６１万円

〈歳出の主なもの〉

楽ちんバス運行費　１０４万円
移住定住推進費２２７万円
県議会議員選挙費　66万円
児童福祉施設費２７５万円
保育所費　１１３万円
ブランド農業推進費　１７６万円
制度資金保証料補給金他　６９１万円
観光振興費　３１１万円
志賀高原除雪組合負担金　１４２万円
箱山トンネル負担金　１１５万円
岳南広域消防組合負担金　△８８０万円
小学校エアコン設置費他　７７３９万円
※工事は31年度
ＪＯＣジュニアオリンピックカップ負担金　60万円

議会だより
YAMANOUCHI TOWN COUNCIL

第115号
平成31年１月24日（2019）
発　行　山ノ内町議会
責任者　議長 西　宗 亮
編　集　広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡山ノ内町大字平穏3352-1
☎0269-33-1101 ㈲2020
E-mail gikai@town.yamanouchi.nagano.jp

議会ホームページと議会フェイスブックは町ホームページからアクセス

山ノ内町議会 facebook ここをクリック

もくじ

新年のごあいさつ……16
第５回定例会関連記事……16
一般質問……18
陳情・要望、議会全員協議会……31
管外視察……32
議会報告会結果報告……34
みんなのひろば・編集後記……35

新年のご挨拶・第５回定例会

新年のご挨拶

山ノ内町議会議長　西　宗　亮

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、素晴らしい夢と希望に満ちた新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。また、旧年中は町議会に対しまして、一方ならぬご支援とご理解を賜り厚くお礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は全国的に異常気象や大規模な自然災害が多く発生し、多難な年でありました。当町でも台風による被害があり、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

さて、毎年開催しております「議会報告会」は、各区並びに公民館等のご共催をいただき、諸般の事情で11月を中心に実施させていただきました。夜や休日のところもありましたが、大勢の皆様にお越しいただき、地域に密着した課題から将来に向けて取り組むべき課題まで様々なご意見、ご提言をいただきまして、誠にありがとうございました。

今年は四年に一度の統一地方選挙で、町議会議員の選挙は四月に予定されますが、任期満了まで気を緩めることなく職責を全うしてまいる所存でございます。

結びに、今年は新しい元号に代わりますが、皆様におかれましては、災いがなく、穏やかで実りの多い年となり、ますますご健勝ご多幸でありますようにご祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

全小学校にエアコン設置 事業費７６００万円

平成30年第５回議会定例会は、11月30日から12月14日までの15日間にわたり開催されました。

町側からは、専決処分の報告１件、補正予算案８件、条例の一部改正４件、請負契約の変更１件、買取契約の締結１件、北信保健衛生施設組合規約変更と財産処分の協議、町道の廃止１件および認定１件が提案され、議会側からは、条例の一部改正１件を提案しました。慎重審議ののちそれぞれ受理、可決しました。なお、条例の一部改正１件については継続審査としました。

４、５、７日に行われた一般質問には12議員が登壇しました。

請願陳情については、陳情２件、要望１件を受理し、うち陳情１件を採択し、意見書の提出を可決し、残りの陳情１件および要望１件については継続審査としました。

30年度一般会計補正予算（第４号）

歳入歳出それぞれ９３８７万円を追加し、予算の総額を72億９９９２万円とするものです。

〈歳入の主なもの〉

国庫支出金
・公立学校施設整備他　１７８０万円
町債
・学校教育施設等整備事業　５８３０万円
財政調整基金繰入金　△２億３０９２万円
前年度繰越金　２億４７６１万円

〈歳出の主なもの〉

楽ちんバス運行費　１０４万円
移住定住推進費２２７万円
県議会議員選挙費　66万円
児童福祉施設費２７５万円
保育所費　１１３万円
ブランド農業推進費　１７６万円
制度資金保証料補給金他　６９１万円
観光振興費　３１１万円
志賀高原除雪組合負担金　１４２万円
箱山トンネル負担金　１１５万円
岳南広域消防組合負担金　△８８０万円
小学校エアコン設置費他　７７３９万円
※工事は31年度
ＪＯＣジュニアオリンピックカップ負担金　60万円

議会だより
YAMANOUCHI TOWN COUNCIL

第115号
平成31年１月24日（2019）
発　行　山ノ内町議会
責任者　議長 西　宗 亮
編　集　広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡山ノ内町大字平穏3352-1
☎0269-33-1101 ㈲2020
E-mail gikai@town.yamanouchi.nagano.jp

議会ホームページと議会フェイスブックは町ホームページからアクセス

山ノ内町議会 facebook ここをクリック

もくじ

新年のごあいさつ……16
第５回定例会関連記事……16
一般質問……18
陳情・要望、議会全員協議会……31
管外視察……32
議会報告会結果報告……34
みんなのひろば・編集後記……35

条例の一部改正

景観条例の一部改正

20㎡を超える地上設置型太陽光発電施設を届け出制とするものです。

廃棄物の処理及び清掃に関する条例

北信保健衛生施設組合のし尿処理事業廃止に伴う条例改正で、社会文教常任委員会と総務産業常任委員会にて連合審査した結果、継続審査としました。

特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

30年人事院勧告にともなう改定です。理事者（町長、副町長、教育長）の期末手当を年0・05か月増額します。30年4月1日に遡って適用します。

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

30年人事院勧告にともなう給与と手当の増額改定です。全体での影響額は7２２万円となります。

発委 議会の議員の期末手当に関する条例の一部改正

30年人事院勧告にともなう改定です。期末手当を0・05か月増額します。

ただし、平成30年4月1日に遡ることは辞退し、31年4月1日からの適用としました（影響額19万円）。

人事院勧告に係る条例改正にともなう補正予算

人件費分の補正が必要となった一般会計ほか6会計の補正予算についても可決しました。

町道路線の廃止・認定

国道403号落合バイパス開通にともない、町道部分の起点・終点に変更が生じたものです。

工事請負契約の変更

町地域防災情報システム（同報系）整備工事の変更請負契約の締結です。

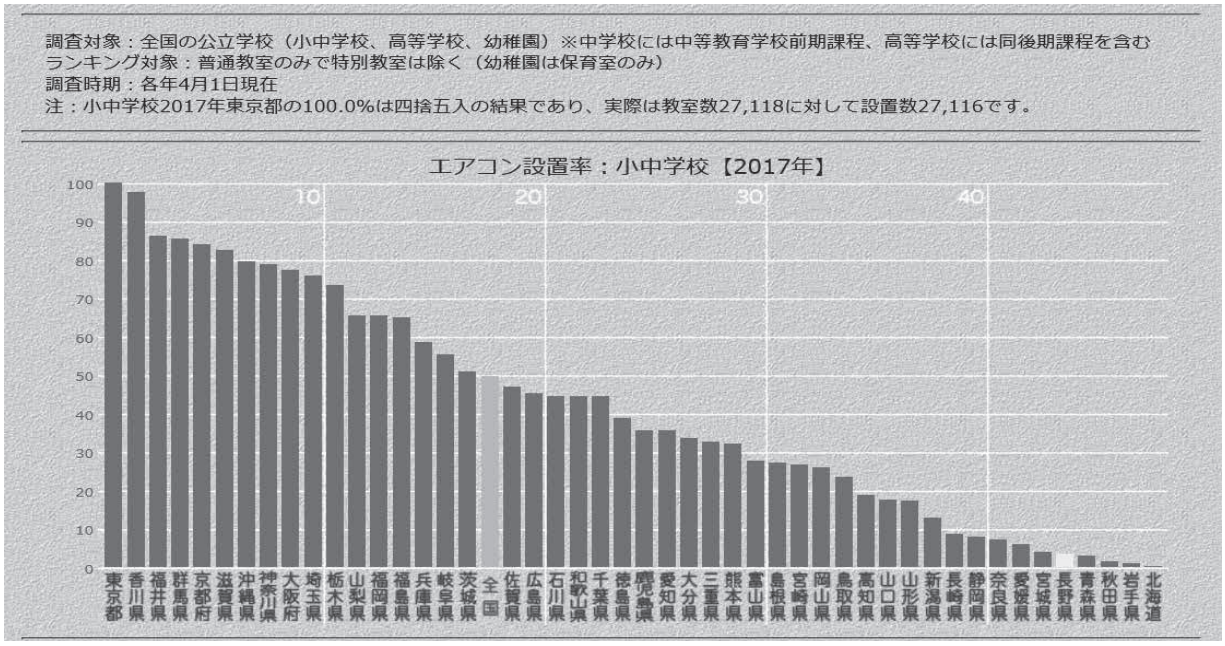
変更理由は、登録制メールに関する接続設定、戸別受信機連動に関する接続設定、および戸別受信機を100台追加するものです。

町営住宅長寿命化型改善事業改善箇所買取契約の締結

・買取改善箇所　1棟4戸
・買取額（税込）
2977万円

北信保健衛生施設組合規約の変更および財産処分

31年3月31日をもって、塵芥処理事業から長野市（旧豊野町）が離脱することを受けて、また、中野市および山ノ内町がし尿処理事務を各市町で独自処理することから、同事務が終了することに関する規約変更と、し尿処理事業に係る土地（11075㎡）を中野市が無償で引き受けるもの、塵芥処理事業に係る土地・建物・備品の権利を長野市が放棄するものです。なお、塵芥処理事業に係る既存の起債償還および建設工事負担金の長野市負担分は2019年度に一括して支払われます。



エアコン設置率の低い長野県（小中学校3.7%）　早急な猛暑対策を
（文部科学省：公立学校施設の空調（冷房）設備設置の状況の結果）

ズバリ ここが知りたい

論戦 子育て、消防団、観光 など

12月４・５・７日の３日間にわたり行われました。

一般質問とは、住民から重大な期待と関心を持たれる大事な議員活動です。議員がその市町村の行政全般にわたって、執行機関の疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。議員主導による政策議論であることから、執行機関も十分な準備が必要となるため事前通告を行います。

質問者１人の質問時間は25分です（答弁を含めて概ね１時間）。

今議会の登壇議員は１２人、傍聴者は２１人でした（大勢の傍聴をお待ちしています）。

①	湯本　晴彦	・平和の丘公園の再開発について　・旧北小学校の後利用について ・子ども支援について　・消防団について
②	渡辺　正男	・子育て支援策のさらなる拡充を ・スポーツ推進計画の実践にどう取り組むか
③	髙田　佳久	・森林整備事業の推進を ・生涯スポーツの推進に対する取り組みを ・空き家対策の推進を
④	髙山　祐一	・観光のインバウンド対応について　・やまびこ広場リノベーションについて ・児童生徒の学習の場について　・花火大会中止について
⑤	布施谷裕泉	・学習および子育て環境の充実に向けて ・人口減少社会における公共サービスのあり方は
⑥	徳竹　栄子	・町の実態に即した実効性のある空き家対策について ・実効性のある移住定住策について　・保護強化される上信越高原国立公園（志賀高原地域）特別地域の改定とエビモリ事業の今後について
⑦	小渕　茂昭	・蟻川図書館の運営方針は何か　・農産物被害の防止を積極的に進めるには ・防災減災対策をどう構築していくのか　・国県道の現状と今後の対応は ・町の表彰規則は励行されているか
⑧	小林　克彦	・人口問題について　・河川の安心安全について ・国土調査事業について　・林道下須池の平線の町道認定について
⑨	山本　良一	・楽ちんバスについて　・消防団について ・北小学校跡地について
⑩	山本　光俊	・ヒルクライムイベントについて　・環境省との連携について ・志賀高原ユネスコエコパークについて　・当町インバウンドについて
⑪	望月　貞明	・公共施設管理について　・道路交通の安全確保について ・国民健康保険医療のデータヘルスについて ・遺跡・史跡の次世代への伝承について
⑫	児玉　信治	・町長の公約について　・駅前周辺の開発について ・観光について　・基盤整備について ・教育について

どうする、旧社会体育館

町長―公共施設整備等検討会議で検討する

質問 平和観音下の児童公園一帯はどうするのか。

建設水道課長 現状維持。

質問 平和の丘公園の観光客数は伸びているのか。

観光商工課長 大悲殿の拝観者数は7000人から4000人を行ったり来たり。外国人観光客が目立つようになった。

質問 平和観音は世界平和、「ワールドピース」を謳っている。戦時中の思いなどストーリーがあるので、世界を意識して、遺し伝えていくのも良いと思うが。

観光商工課長 案内している。世界平和のコンセプトも考えていきたい。

質問 その下の児童公園も含めて、桜やアジサイの名所として、一帯を再開発することで、全町的なオフシーズンとなる4、5、6月の集客力が上がる。それにより、通年雇用を生み、正規雇用が増えれば、移住・定住につながる。さらにその下の旧社会体育館までやると大きな観光スポットになる可能性がある。撤去費用が1億2000万円ほどだが、交付金や補助金の手立てはないか。

旧社会体育館や児童公園も含めた一帯の開発の検討を

教育次長 解体のみでは補助金、交付金の適用はない。

質問 国交省の社※会資本整備総合交付金制度があるが。

町長 解体だけでは、補助も起債もできないので、公共施設整備等検討会議の中で検討していかざるを得ない。財源問題も含め、なかなか手をつけられない。

質問 この交付金に国では9000億円くらいの予算もついている。現在の教育長が行政出身ということもあるので、交付金や補助金を検討してほしい。

児童クラブの要望

質問 東小の放課後児童クラブで、クールダウンするスペースがほしいと言われているが。

健康福祉課長 東小校長の配慮で提供した。

質問 支援児が多い状況で、健康福祉課と教育委員会の連携強化が必要だが。

教育長 今後、より強化し情報共有していく。

消防団の定数問題

質問 定数はどのように決められているのか。

消防課長 ポンプ車および積載車、地域の広さ、人口を勘案して出している。

質問 渋部では、ポンプ車、積載車があり、名簿上人数はあっても、出すのが実際厳しかったり、一部の人間に負担が偏ることがあり、イメージも悪くなる。その点の改善は。

消防課長 まだ話せる段階ではないが、検討を始めた。

質問 何年も同じ話をやっているので、早急な対応を。

その他の質問

○旧北小学校後利用

湯本 晴彦（ゆもと はるひこ）

※社会資本整備総合交付金…産業・観光振興等による活力ある地域の形成に向けて、道路、住宅、河川、都市公園等、社会資本を整備するために交付する資金

先送りの癖は
何もしないことの
温床である

湯本晴彦のつぶやき

幼児教育・保育無償化にどう対応するか

町長―総合的な子育て支援に取り組んでいる

渡辺（わたなべ） 正男（まさお）

質問 **10月から、幼児教育・保育無償化が始まろうとしているが、町の子育て支援策のさらなる拡充は。**

町長 年長児保育料無料化、こども医療費の現物給付化、高校生の通学定期券購入補助など積極的に保護者の負担軽減をはかり、総合的な子育て支援に取り組んでいる。

質問 **幼児教育・保育無償化で保護者の負担はどうなるか。**

健康福祉課長 国では幼稚園、保育所等を利用する3歳から5歳児の利用料を無償化し、0歳から2歳児については住民税非課税世帯を対象として無償化するとの方針が示され、消費税引き上げ時の10月からその実施を目指すとしているが、具体的な手続きについては検討中とのことからその動向を注視している。

質問 **29年度の町の保育料[※1]調定額は3806万円。国[※2]の基準額は8251万円で、町負担は4444万円になっているが、無償化でどう変わるのか。**

健康福祉課長 町が費用の4分の1を負担し、給食費、通園バス代、行事費は対象から外すということのようだが、新たな保護者負担をお願いするというわけにはいかないと思う。

自主性や自己肯定感を育むやまほいく（伊那市の自然保育施設「はらぺこ」）

保育園給食費の新たな負担軽減を

質問 **現在、給食費は、保育園では主食費（ごはん＝国基準額月3000円）は自己負担、副食費（おかず＝同4500円）は公費だが、幼稚園では全て自己負担。無償化で保育園の給食費は全てが対象外となる。「子育てするなら山ノ内町」という形を目指すなら、独自の支援策が必要になると思う。無償化で新たな財源が生まれるのであれば、現在の主食持参から、園で提供へ見直すことなど、審議会や保護者の意見も聞きながら進めていただきたい。**

対象とならない保育施設をどうするか

質問 **やまほいくの施設は、特殊な幼児教育施設という扱いで、無償化の対象になっていない。そこだけ有料では運営が成り立たなくなる心配がある。**

健康福祉課長 努力は認めなければならないと思うが、町として支援・補助できることは今のところない。

質問 **地域おこしにも貢献し、須賀川の地でなければできない保育・幼児教育を実践しているやまほいく施設。町として応援する考えは。**

町長 他の状況も十分踏まえながら、どうしていったらいいのか今後の研究課題とは思っている。

※1　保育料調定額…町の保育所費負担金徴収条例の規定に基づき、保育料を調査・計算し、収入すべき金額を決定することを調定、その決定した額を調定額と言います。

※2　国の基準額…国が住民税の階層区分別（8階層）に定めた保育料の基準額表を基本に算定した保育料の合計額。

「僕は、壁ではなく橋を築きたい」（元クイーンのブライアン・メイ）。この言葉、届くべき人に届いたかな。

渡辺正男のつぶやき

森林整備事業への取り組みを

町長―森林環境譲与税や県森林税を最大限活用したい

髙田　佳久（たかだ　よしひさ）

質問　森林※1経営管理法に基づく、新たな森林経営管理制度への対応は。

農林課長　法の趣旨に則して、ゾーニングを行うことが最優先。

まだ運用部分で不明瞭な点もあるが、31年度は意向調査の準備や要綱・要領の策定作業。32年度は意向調査の実施を予定。

質問　制度への対応は事務量が膨大となるため、広域連携で対応する考えは。

農林課長　県振興局に対し広域連携の提案を行った。32年度中に結論を出すとの資料提示を受けた。

質問　新年度予算における森林※2環境譲与税への対応は。

農林課長　3月議会で条例改正を提案し、基金の創設を予定。

質問　森林が少ない都市部では、普及啓発等の取り組みとして地方の自治体に赴き、植樹や環境教育を実施するといったことが検討されている。

友好自治体をはじめ首都圏からの交流人口の増加が期待できるため、PRを含めた対応を。

長野県森林づくり県民税のパンフレット

町長　内部と十分協議し、上級機関の指導を受けながら対応したい。

生涯スポーツの推進を

質問　総合型地域スポーツクラブの設立支援は。

教育長　10月の教育委員会定例会の中でも関連した話があった。11月には有識者との懇談を行っている。

当町の実情に合った総合型地域スポーツクラブの設立に向け、関係者とともに研究を進めたい。

質問　当町で総合型地域スポーツクラブが設立されていない要因は。

教育長　核となる人材が一番大切と考える。

質問　アシスタントマネジャー育成講習会が県で実施されているが、専門的な人材育成のため参加を。

教育長　養成などについても研究したい。

空き家対策の推進を

質問　空き家等対策協議会を設置したが、町民に対する周知は。

建設水道課長　町長が会長で区長会・弁護士・司法書士など11名で構成された協議会。個別の案件や具体的な事例も取り扱う関係上、非公開での協議としているが、周知・広報など何らかの形で対応したい。

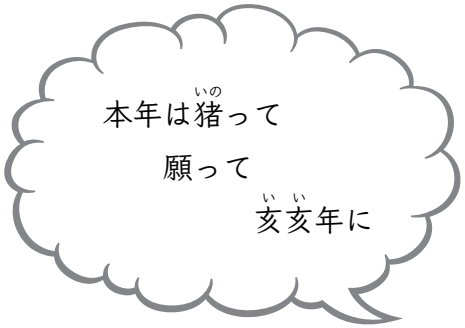
質問　空き家が鳥獣の住処（すみか）となり、その近隣では人的被害も発生している。

安心・安全が確保されるよう早急に対処していただきたいが。

町長　空き家等対策協議会を設置した状況。町内各地でも大変困っているので、順次できるところから対応したい。

※1　森林経営管理法…平成31年4月1日に施行され、所有者不明や境界不明確など、適切な経営管理が行われていない森林を、意欲と能力のある林業経営者に集積・集約化するとともに、それができない森林の経営管理を市町村が行うことで、森林の経営管理を確保し、林業の成長産業化と森林の適切な管理の両立をはかることとしている。

※2　森林環境譲与税…森林経営管理法を踏まえ、市町村が実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、森林環境税（仮称）及び森林環境譲与税（仮称）が創設される。



髙田佳久のつぶやき

角間川左岸高水敷のさらなる整備を

町長―今後、利用者の声を聞いて検討する

髙山 祐一（たかやま ゆういち）

質問 **やまびこ広場リノベーションにあわせて、噴水施設とつながる角間川左岸高水敷の整備をし、広域的な利便性をはかるべきと考えるが。**

建設水道課長 角間川左岸の親水公園、親水空間は県の砂防環境整備事業の一環で整備されている。すでに水路などの施設が整備されている。また河川愛護の観点で草刈りなどの対応を、地元の協力をいただいている。引き続き近隣の住民の憩いの場として活用してほしい。

質問 **そこの管理責任はどうなっているか。**

建設水道課長 河川の砂防施設ということで、県建設事務所であるが、町で設置した施設も若干あり、占用許可もとってあるので町の部分になる。

やまびこ広場から水管橋を渡り、広域的な利活用を
（通水式が行われた噴水施設）

質問 **県の施設ではあるが、現在穂波温泉区の方々が整備をしている。町はそれに対して補助をしているか。**

建設水道課長 今はしていない。

質問 **湯の原地区および南部地域の利用者などが、やまびこ広場へ向かう水管橋を渡る場合、水管橋上段の角間川左岸高水敷を利用しての、駐車スペース整備は必要ではないか。**

観光商工課長 南部地域の方が利用するには、多少遠回りにはなるが、旧町民プール跡に整備する80台程停めることができる駐車場を有効利用していただきたい。

要望が多い煙火大会復活を

質問 **町内各所で、煙火大会の復活を求める声があるが。**

町長 町は60回続いた全国煙火大会、34回開催した長野県後継者花火コンテストに対して、毎年支援してきたが、今年度は主催者である町観光連盟から中止したいとの通知をいただいた。町民からは、中止は残念という声が私にも多く寄せられている。今後、復活の条件が整うのであれば、町としても再度支援をしていく考えだ。

質問 **この煙火大会は、誰のためだったのか。**

観光商工課長 あくまでも観光連盟が主催なので、湯田中渋温泉郷の誘客のためである。

質問 **町民のための煙火大会という位置づけでの、実行委員会の立ち上げについてはどうか。**

町長 観光連盟が熟慮を重ねての結論である。現時点では異論は言えない。また十分連盟と話し合いをさせていただきたい。

その他の質問

○観光のインバウンド対応について

○放課後の児童生徒の学習場所について

2月に町長選、4月に県議会と町議会選、夏は参議院選、ダブルもあるかも。フー。

髙山祐一のつぶやき

役場窓口業務の一部を郵便局に移管を

総務課長―住民サービスにつながる反面、費用負担の課題もある

布施谷（ふせや） 裕泉（ひろみ）

役場窓口業務の民間委託は

質問 全国で郵便局との連携に踏み切っている自治体の割合は。

総務課長 約1割弱。

質問 法で定めている取り扱い可能な事務内容は。

総務課長 住民票の写しや印鑑証明書の交付など5項目。

質問 過日、地元郵便局長を通じ信越支社に、行政との連携の意向について打診したところ、局の窓口業務が減ってきていることもあり、行政からの要請があれば前向きに対応したいということだった。

志賀高原や須賀川区において郵便局は唯一の金融機関であり、特に重要な生活インフラのひとつ。仮に郵便局の業務量減を理由に地域からの撤退を余儀なくされた場合、地域の受けるダメージは計り知れない。総合的な判断のもと、ぜひ委託に取り組んでいただきたい。

拠り所としても親しまれ、地域の拠点となっている須賀川郵便局は地区の名称がついていることで、また格別なものがある

総務課長 高齢者増により、近くの郵便局でとの声はあるが、やはり費用面ですぐに進めるのは難しい。

質問 高齢化で行動範囲が狭くならざるを得ない現実がある。町長の考えは。

町長 課題的なことを精査する時間がほしい。その上で郵便局とのすり合わせも含め、検討せざるを得ないと思っている。

子育て支援の窓口一本化を

質問 放課後児童クラブを事例にお聞きしたい。東小に、もう一室求める意見が多いことは、一般質問でも取り上げられているが、なかなか実現しない。校長に実情をうかがったところ「空いている教室はあるので、場合によっては使ってもらっても構わない」との回答をいただいた。教育長の受け止めは。

教育長 放課後児童クラブへは外から入るなど制約もあるので確認したいが、今ここで増やすことについて言及はできない。

質問 学校では進める用意があるとしている。ぜひ協議を。

教育長 実情を把握して必要があれば協議したい。

質問 支援員さんの切実な要望が健康福祉課から教育委員会に、そして学校へどのように伝わったかということと、その対応が問題だ。正確に伝わっているとはとても思えない。その原因は所管の違いによる認識差にあるのでは。

教育長 連携は取れており特別問題はないと思う。

質問 ぜひ「子ども支援係」の教育委員会移管を。

町長 教育委員会と十分協議して対応していきたい。

「町民目線」とはまさに「町民に寄り添う」ことと同意語のはずなのに、ややもすると「行政目線」が先に立つ。

布施谷裕泉のつぶやき

廃墟となった旅館・空き家に実効性ある対策を

町長―専門家と相談して進めていく

徳竹 栄子（とくたけ えいこ）

質問 協議会において、特に難しい、所有者が確知できない空き施設の対策を現在、検討しているのか。

建設水道課長 所有者が判明しない場合の措置は法に照らし検討していく。

質問 町道に面し、危険で景観の悪い竜王スキーパーク入口のホテルを町はどのように考えているのか。

建設水道課長 空き家対策協議会で個別に対応について相談、検討を考えている。

質問 費用負担は地域と合意が大前提であるが複雑な物件を町が代理執行し一旦町の不良物件とする法的な手順の検討はできないか。

建設水道課長 次回の協議会へ伝え、対策について進めていきたい。

質問 所有者が確知できない場合、町・地域・企業などと合意確認し公告・略式代執行を行い解決していくスキームなどについて検討していただきたい。

観光地として放っておけない危険なホテル

町長 協議会で専門家の知識や国、近隣市町村の動きを配慮し、空き家をなくすために精いっぱい対応する。

実効性のある移住・定住策を

質問 移住体験住宅「須賀川んち」の利用者数や効果を上げるために体験メニュー、ニーズの把握、申し込み時の内容を検討する必要は。

移住定住推進室長 今後意見のとおり当然考えていく必要がある。

質問 地域の代表区長への紹介、地域の催し物、イベントのボランティア参加など地域住民と交わることも必要ではないか。

移住定住推進室長 長期の体験者には地域の方の意見、情報提供することは重要なことである。検討したい。

質問 地域おこし協力隊員に地域の方との連携サポート、企画メニューづくりのコーディネートをする考えは。

移住定住推進室長 協力隊もその方向で進んでいくと考える。

国立公園特別地域、志賀高原の保護強化

質問 特別地域の規制18項目抜粋①木竹の破損、土地の開墾、形状変更②植物の採取③生育地でない植物の植栽、など許可が必要。許可をとっているからエビモリ事業は問題ないという考え。規制とは極力控えよう、ごく自然の状態で行おうということが根幹と考えるが。

町長 種子は環境省の事前の指導を受け植樹している。

質問 国立公園の保護強化の観点から志賀高原に入り込んでいるブタナ※の駆除をエビモリ事業にできないか。

町長 ヤナギランの会、わたすげの会、高天ケ原地区、硯川地区などその地域の皆さんが地域として行っている事業であることを理解していただきたい。

※**ブタナ**…キク科エゾコウゾリナ属の多年草。ヨーロッパ原産で、日本では外来種（帰化植物）として各地に分布する。

エビモリ事業の植樹方式は災害地・砂漠化した場所で有効。他の国立公園では聞いたことがないなあ。

徳竹栄子のつぶやき

蟻川図書館の運営方針は

町長―多くの町民が利用する方策を検討していく

小渕 茂昭（おぶち しげあき）

質問　今後の方向性をどうはかっていくか。

町長　蟻川浩雄氏に図書館建設費や図書購入費、改修費など、現在に至るまで多大なご寄附やご功績に町として感謝申し上げ、町立図書館として引き続き運営などに対応していきたい。

質問　名誉町民蟻川氏ご意向の図書館の名称変更はどう捉えているか。

町長　開館20周年の際、ご本人から名称変更のお話があった。図書館の歴史や経緯など次世代に継承し、現名称のまま引き続き運営をしていく。

質問　図書館建設総事業費の町の支出額は。

教育次長　すべて建設費は蟻川氏のご寄附でおこなっている。

蟻川家の碑（横倉）

農産物被害防止を

質問　鳥獣被害の実態と防止策をどう進めていくのか。

町長　地域住民協力のもと集団電柵を行った予算対策、猟友会協力のもと捕獲対策を実施している。

質問　電気柵の設置状況と設備の老朽化の具体的な対策は。

農林課長　町内全域で19．5㎞設置しており、老朽化対策として、地元電気柵管理組合へ要望品の材料支給を実施している。

質問　自然災害による被害額の算出基準は何か。

農林課長　県下統一の算出方法で、県農政部において災害対策指針に基づき算出している。

防災減災対策の構築を

質問　防災行政無線の難聴地域は解消できたか。

消防課長　防災無線子局のスピーカー方向を調整し、地域の方に試聴していただき、解消している。

質問　地区での防災緊急放送などに有効利用できない理由は何か。

危機管理室長　運用基準では緊急性情報とされている。

質問　非常時対応として各地域に発電機の貸与を。

危機管理室長　状況に応じレンタル調整など、一朝有事に備えたい。

国県道の現状と対応は

質問　国道４０３号の一時停止の解消状況は。

建設水道課長　交差点改良にともなう用地測量、用地補償に係る物件調査を実施した本年は、一部用地交渉の予定。

質問　西部協議会からの道路建設陳情書の把握は。

建設水道課長　宇木の土木見回り要望箇所で確認した。

町の表彰規則励行は

質問　表彰基準は何か。

教育長　全国スポーツ大会などで、上位8位まで、団体メンバーも対象になる。

質問　選出不備発生はなぜ起きたのか。

教育長　表彰者の把握には全国規模競技大会も多く、情報提供に協力願いたい。

夏は熊、冬はイノシシ、
年中ハクビシン。
里へ出て野菜くだものを
食い荒らす。
生物共存の理想と現実。

小渕茂昭のつぶやき

国土調査成果の精密均衡は

町長―地籍図として法務局に登記されている

小林 克彦（こばやし かつひこ）

紛失した杭の復元精度は

質問 国土調査事業は、昭和56年度本郷地区から開始して、平成33年度で終了するとの答弁であるが、最初の本郷地区などに課題はないか。

農林課長 以後の数値測量と異なる平板※1測量であるが、調査成果は国の認証を受け法務局に登記されており、事業は達成と考える。

質問 地図の精度は以後の地域と同じ「甲3※2」ではあるが、デジタル機による数値測量地域は「甲3」以上の精度を有し格段の差がある。境界杭を現地復元する場合の精度も測量方法の違いによる不均衡が生じるが。

農林課長 基準点の座標地と辺長図で、ある程度の復元は可能と考えている。

質問 ある程度では、地域間の精度均衡がとれているといえない。再調査をやるべきと考えるが、その場合の当該面積・費用はどうか。

農林課長 面積は2・91㎢、費用は1億1323万円と試算する。

現在使用されている杭は紛失時に元へ戻せるのか

河川の安心安全は

質問 平成26年改定防災計画は50年・100年確率の想定日雨量が平成12年時と変更ないが、見直しはされたか。

建設水道課長 データなどの把握はできていない。

質問 数値は250㍉・300㍉であるが、近年全国の災害時の72時間雨量は1000㍉を超えている現状からすると以前のままでは防災整備の基準値として、十分とはいえず不安が残る。

建設水道課長 正確な数字は把握していないが、砂防・落合※3地滑りなどに県が対応している。

質問 重要水防区域のうち横湯川、角間川各2か所が護岸高の不足などで予想水位2mで溢水（いっすい）・決壊・氾濫などの被害想定がされているが、被害回避の対策はどのようになっているか。

建設水道課長 落合については、新仏岩1号堰堤（えんてい）から新仏岩2号堰堤、新落合堰堤と長期的計画で進めている。落合地滑り指定地約292haは監視体制を整え、集水・配水の施設整備を継続して進めている。

質問 上流域が整備されると下流域の水量が増す。これに対応した整備が必要。

町長 国、県の認知にあわせ積極的に要望をしていく。

人口問題対策は

質問 人口減少で危機的なことは、出生の減である。近年の出生人数は50～60人であり、中学生の90人と比較しても差は歴然である。出生の減は、結婚数の減にも由来し、解決は多岐にわたり個人一人ひとりの考え方であり難しいが。

総務課長 これまでの施策とともに、広域的に考えていく必要を感じている。

※1　平板測量…製図用の平板に、視準器・巻尺などを用い、その場で作図する測量方法。

※2　甲3…国土調査法施行令で定められる図上距離と直接測定の距離との差異の精度区分で、図面の縮尺などにより適用される許容誤差が甲1から甲3、乙1から乙3までの6段階に分かれている。

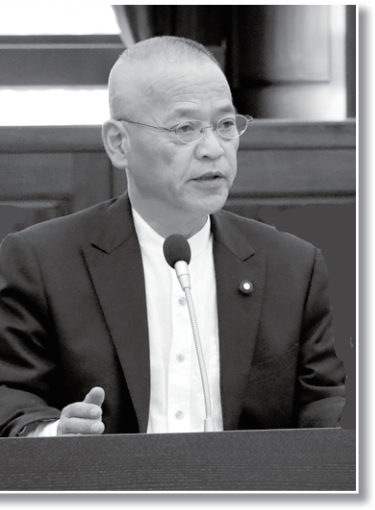
※3　落合地滑り…横湯川の源流部にあり、志賀高原北西部に隣接している約292haの大規模な地滑り地域。

出生減の回復には、お節介なくらいのきめ細かな対応が必要とされているのかも。

小林克彦のつぶやき

楽ちんバスは大成功か失敗か

総務課長―大成功と言うより成功と思う



山本 良一（やまもと りょういち）

質問 **有償移行後の状況は。**

町長 本年10月から国の補助を受け有償運行を開始している。地域公共交通の確保に向けできるだけ大勢の人に利用いただきたい。

総務課長 無償運行と比べ利用は25％減。減少傾向にあるので、利用促進に向け広報したい。

利用者の要望で多いものは

総務課長 回数券の購入場所を増やすことと、中野市への乗り入れの要望がある。

地域交通網計画とは

総務課長 この計画は広域的な連携を含め、地域にとり望ましい地域公共ネットワークを明らかにするもので、要望の多い中野市への直接乗り入れを検討するためにも、中野市をはじめ広域的な枠組みの中で検討が必要。現在、長野運輸支局が広域連合での交通網形成計画策定の検討に向けた組織の立ち上げを提案しているので当町もそこに参加し、広域連携による公共交通の維持に向け検討を進めていく。

病院送迎バスを出せないか

質問 **（国補助をうけた）有償運送は他市町村への乗り入れはハードルが高いが、須坂市の轟病院は須坂市内、小布施町と高山村の一部で送迎バスを出している。これは参考にならないか。**

町長 そういう患者さんへのサービスもあるのかと思っている。北信病院にもいろいろな考え方があると思うが、話はしてみたい。

火災時の対応は

質問 **先日の火災の時に、①指令センターに電話がつながらなかった。②消防団員にメール配信がなかった。③有線放送が遅れた。という指摘に回答を。**

消防課長 電話の件では、明け方で手薄な時間帯におきた大規模火災ということで、対応しづらかった。

メールに関しては本部から配信されるシステムになっているが、操作上の誤りにより団員には届かなかったミス。有線放送についても、先ほど同様、山ノ内署においても手薄の中で非番も含め全員出動で現場に向かった形で放送が遅れたのが実情。

質問 **現在新しい設備をしているが、機械が良くなっても人間の操作上の誤りがあり得る。有線放送が遅れると、打鐘が遅れ、すべてが悪い方向に向かう。今度の機械になれば、二度とあり得ないか。**

消防課長 今議会に変更契約の議案を提出してあるが、防災無線放送、戸別受信機、メール配信をひとつの操作で同時に配信できる内容に変更している。より安全で迅速な方法に変更する予定だが、再度職員への教育を徹底し、二度と起こらないよう対応していく。

有償運行（100円）が始まった楽ちんバス

平成最後のお正月。

山本良一のつぶやき

インバウンド課を設置し情報発信の一元化を

町長―組織については十分熟慮したい

山本 光俊（やまもと みつとし）

外国人旅行客が増え様々な言語が飛び交うようになった。もっと英語を勉強しておけばよかった。

山本光俊のつぶやき

ヒルクライム開催実現へ

質問 ヒルクライムの構想は平成24年より町と志賀高原観光協会の連携で開催に向け取り組んできた。開催の課題は警察関係だけか。

観光商工課長 警察関係の許認可が一番の課題。

質問 他県で同様のイベントの際、志賀草津道路を閉鎖し、鳥居峠などを迂回路として開催している。なぜ同じことができないのか。

観光商工課長 何度か警察に伝えている。

質問 開催に対する地元の期待は大きい。このことを警察関係者はご存知か。

観光商工課長 一定の理解をいただいていると思う。

質問 ヒルクライム開催実現のため実証実験としてロングライドを開催しているが、運営してみてどうか。

観光商工課長 誘客の材料として有効と思う。ヒルクライムは集客面でより効果が高いと考えている。

国立公園満喫プロジェクト展開事業で行われた海外セールスコール
ますます活発になるインバウンド誘致

国立公園指定70周年をむかえ

質問 環境省では市町村から出向者を受け入れ、国立公園の事業連携や情報交換を行っている。町も職員出向を検討してはどうか。

町長 本省の局長、課長からも要請をいただいている。熟慮し検討する。

質問 環境省中央審議会の答申を受け、保護地域が拡張される。当然規制もかかるが、今までも既存の規制を遵守してきた。これからも規制を遵守する。それをお客様にお見せする。それこそが他の観光地に対し優位性を保てる。以前、国道292号線上林に料金所があって、志賀高原（国立公園）の玄関口の役割を果たしていた。それに代わるモニュメントなどを設置し「ここからが国立公園」という演出をしたらどうか。

観光商工課長 よい提案だと思う。地元の皆さんと検討したい。また、来年の国立公園指定70周年に向け実行委員会を立ち上げたので委員会でも検討する。

ユネスコエコパークのブランド力向上を

質問 志賀高原観光協会で実施している環境学習プログラムは核心・緩衝地域を活用したプログラムだった。今後、観光と農業の連携をテーマに移行地域を付加したプログラム策定するが。

観光商工課長 ふもとの果物、農作物とつながりをもたせるプログラム、商品造成ができればと思っている。支援していきたい。

公的機関からの情報発信強化を

質問 インバウンド誘致のため海外へセールスコールに行った際、志賀高原には10件ほどしか宿泊施設がないと聞いていたと、ある旅行会社から言われた。収益に直結するため、醜悪な営業が起こる。行政として公平公正の観点からインバウンド課を設置し情報発信の一元化をはかるべきでは。

新たな社会体育館は必要と考えるか

町長―公共施設整備等検討会議で検討する

望月 貞明（もちづき さだあき）

質問 公共施設は人口の減少に合わせ、平成42年度に床面積で15％削減予定だが、29年度からこれまでの削減は何％になるか。

総務課長 30年度に南小教員住宅の解体1棟で約0.3％削減になる。

質問 社会体育館は議会で議論されている。新たな社会体育館は必要と考えるか。

町長 公共施設整備等検討会議で検討する。財政状況、老朽化を見て住民の要望に答えられる形で進めたい。

公共施設のLED化状況は

総務課長 庁舎のLED化は進んでいると思う。

教育次長 文化センターのLED化は計画的に進めており、残りは地下と3階ロビーと記憶する。

新電力活用による電気料金削減は

総務課長 28年9月から庁舎、地域福祉センターなど15施設を新電力に切り替えた。29年度の庁舎で約1割削減できている。

質問 志賀高原総合会館98は昨年長寿命化として屋根をカバー工法で工事したが竣工後塗装などの保全工事の実施は。

観光商工課長 行ってない。

質問 なぜ実施しなかったか。

観光商工課長 そこまでの工事は必要がなかった。

質問 施設の点検にドローンカメラ活用は。

総務課長 購入やレンタルは考えてない。

屋根、外壁工事で長寿命化された志賀高原総合会館98

他地区へ防犯灯設置は

質問 他地区の生徒が当該区の通学路を利用しているが、区内にはその通学路を利用する児童生徒がいないため防犯灯は設置していない。町として当該区に防犯灯を設置できるか。

健康福祉課長 関係区には必ず区境がある。隣接する区などと協議のうえ、地元の施設として区有施設等整備事業補助金などを利用され整備されたい。

通学路の危険なブロック塀

質問 小中学校の通学路の危険なブロック塀の数は。

教育長 通学路の危険ブロック塀は23箇所あった。

質問 危険なブロック塀への対応はどうか。

建設水道課長 目視だけでは一概に判断できないので教育委員会とも協議して設置者への「声かけ」を検討したい。

郷土歴史館の設置は

質問 町の各地に史跡があるが皆に知られていない。また、資料の集積や研究も不十分に思える。佐野遺跡の土器が中央公民館やほなみふれあいセンター、南小学校資料室に保管されている。これらをまとめ研究する拠点として郷土歴史館の設置を提案したい。

教育長 既存施設の展示を充実させ、工夫することでお知らせできると考える。

平成から新時代へ。
これからを拓くのは柔軟な発想と情熱を持った人材。

望月貞明のつぶやき

通称「安代坂」の拡幅計画は

町長―計画の見直しを含め検討する

児玉 信治（こだま しんじ）

質問　平成21年に都市計画道路中央線は見直し区間となっているが、湯田中番場沓野線の拡幅計画は。

建設水道課長　安代坂の区間については計画幅員が6.5ｍ、現道は歩道も含め５ｍ。急傾斜でもあり拡幅はなかなか難しい状況である。

質問　インバウンドの重要な観光道路でもあり、住民の非常時にとっても拡幅改良すべきと思うが。

建設水道課長　どのような方法があるか、関係機関などと協議してみたい。

町長　都市計画道路は現在８路線で指定を行っているが、指定から50年以上経過する路線もあり、社会情勢の変化、地元関係者の同意など踏まえながら計画の見直しなども含め検討していく。

一方通行解消が望まれる「安代坂」

駅前周辺の開発は

質問　観光立町であり、インバウンドを推進する当町の玄関口としては心もとない、開発の考えは。

町長　町では、平成18年度から、空き店舗をリニューアルすることにより町の活性化をはかることを目的とした空き店舗活用事業補助金交付要綱を定め、その後26年度において、要綱の内容を拡大し、さらなるにぎわい創出のために取り組みを行っている。これまで17件の改修に対し補助金を交付し、湯田中エリアでは６件の実績があり、今月には湯田中駅前にて新たに１件の店舗が営業開始の予定。町としては、本事業を積極的に活用していただくことで、今後も民間活力による町内のにぎわい創出を進めていきたい。

質問　国の地方創生の取り組みで※ＳＤＧｓ推進がある。これを活用してはどうか。

総務課長　ＳＤＧｓとは、持続可能な開発目標といわれており、その中に17の目標と１６９のターゲットがある。11項目にある「都市と人間の居住地を安全、強靭かつ持続可能にする」に当てはまると思う。その中に10のターゲットがあるが、それに当てはまらないものがある。しかし、市町村で指標を変えることは可能と考えている。

町長　町にとって活かせるものは活かしていきたい。

質問　商工会館の今後の予定は。

総務課長　32年度に解体予定ということで実施計画に計上している。それまでに後利用を検討したい。

質問　事務所を新築し、観光連盟などを移設させる考えは。

町長　それがよいか、今後検討していく。今のままで現状良しとは思ってはいない。

※ＳＤＧｓ…「サスティナブル・デベロップメント・ゴールズ」。持続可能な開発目標と言われており、2015年９月に開催された国連サミットで採択された。国連加盟の193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた17の目標と169のターゲットのこと。

深刻なのは「切り身」しか見たことのない青少年。「とさか」がなく四本足の鶏を平気で描く。「生命」への無関心を憂う。

児玉信治のつぶやき

みなさんからの陳情・要望

受理番号	件　　名	陳情・要望者	採決結果
第７号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情	長野県医療労働組合 執行委員長　小林　吟子	採択 意見書提出
第８号	一般廃棄物収集運搬手数料改定に関する陳情書	有限会社 山ノ内衛生 代表取締役　工藤比呂美 有限会社 志賀プラントサービス 代表取締役　高田　　均	継続審査
要望１号	山ノ内町廃棄物の処理及び清掃に関する「し尿処理料金」の平準化を求める要望書	志賀高原観光協会 協会長　山本　光俊	継続審査

＊陳情第７号に関しては以下のような意見書を提出しました。

１.医師・看護師・医療技術職・介護職などの夜勤交替制における労働環境を整備すること

①１日かつ１勤務の労働時間８時間以内を基本に、労働時間に上限規制や勤務間のインターバル確保、夜勤回数の制限など、労働環境改善のための規制を設けること

②夜勤交替制労働者の週労働時間を短縮すること

③介護施設や有床診療所などで行われている「１人夜勤体制」をなくし、複数夜勤体制とすること

２.安全・安心の医療・介護を実現するため、医師・看護師・医療技術職・介護職を増員すること

＊陳情第８号・要望１号に関しては、「更に慎重な審査が必要」のため継続審査としました。

議会全員協議会

第16回（９月28日）

①県特別豪雪地帯指定市町村議会協議会総会の議題提出

第17回（10月30日）

①議会報告会

日程、役割確認

資料、パワーポイント確認

第18回（11月29日）

（１）執行機関側から

①実施計画（31年度～33年度）

②第５次総合計画後期基本計画における数値目標の達成状況

③まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理及び改定

④廃棄物の処理に関する手数料の改正

⑤地域防災情報システム（同報系）整備工事の変更　請負契約の締結

⑥指定管理者の選定状況

⑦平成30年度人事院勧告に係る給与改正条例（一般職・特別職）

（２）議会側から

①※平成30年度人事院勧告に係る議員の期末手当改正条例

第19回（12月14日）

①議会報告会結果報告

②中野市・小布施町・山ノ内町議会議員親善交流会

※平成30年度人事院勧告に係る議員の期末手当改正条例について当議会は、次のように定めた。

第１条２項中「100分の157.5」を「100分の167.5」に、「100分の172.5」を「100分の167.5」に改めることとした。

この条例は、平成31年４月1日から施行する。

管外視察報告
学ぶべきもの

総務産業常任委員会

10月22日（月）、23日（火）と4か所、視察研修を行いました。

岐阜県　中津川市

地域公共交通システムの取り組み

楽ちんバスが今年度10月1日から本格運行されていますが、エリア拡大や利用方法などの課題があることを踏まえ、先進地である中津川市を視察しました。広域交通網計画をすでに実施されている中津川市は、南北49キロという広範囲にわたり交通網の整備をしなければならないということで9エリアにわたっての運営となっています。

営業バスが3社運行しており、9路線あるコミュニティバスと連結することを柱として計画が策定されています。その中でコミュニティバスの時刻表をグーグルマップにアップして周知をはかるなど全国でも類を見ない取り組みをしています。

「住んでよかった、住んでみたい街に」をスローガンに、移住定住促進もはかっている

また、「住んでよかった、住んでみたい街に」をスローガンに掲げ、移住定住促進をはかっていることが印象的でした。

静岡県　浜松市　秋野不矩美術館

観光利用の観点から美術館運営を視察しました。

日本画家「秋野不矩」の作品を収集して展示することを中心に建設された美術館です。ここは志賀高原ロマン美術館と同じ時期に竣工しています。

丘の上にある美術館

展示室は土足厳禁となっており、床に座って鑑賞することもできるルールになっていました。ちなみに、収支についてはあまり指摘されないようですが、利用者数に対するチェックは厳しいとのことでした。

長野県　松本市　芳川公園

今年度、やまびこ広場に親水施設が新たに設置され、今後もリノベーション事業が予定されていることから、他の施設を視察することとしました。芳川公園にも親水施設があり、どのような運営がされているか、またどのような施設が設置されているかを確認しました。3.9haの公園に芝が広がっていて、中央部を貫くように人工の川がありました。

やまびこ広場リノベーションは十分な検討を

その他は、池、グラウンド、遊具エリアのみのシンプルな公園でしたが、多くの人に利用されています。

静岡県　浜松市　Nicoe（ニコエ）くるりの森

民間商業施設ｎｉｃｏｅ（ニコエ）の敷地内に設置されている「くるりの森」は、やまびこ広場リノベーション事業を考える上で、参考にするために視察しました。

不思議な形が特徴的な巨大ネット遊具で、公園のモニュメントにもなっています。

ここはうなぎパイで有名な春華堂が「お菓子の新しい文化とスタイルを発信するスイーツ・コミュニティ」をコンセプトに、新名所として子どもから大人まで、訪れるすべてのお客様の心を満たし、お菓子のある心豊かな暮らしと浜松のさらなる発展に貢献することを目的としています。

当日は子連れのお客様がたくさん訪れて、楽しそうにはしゃぐ声が響き渡っていました。

企業とのタイアップや特徴のある施設の設置など、様々な角度から公園のあり方を検討していく必要があると考えさせられました。

独特な形をした遊具「くるりの森」は子どもに大人気

常任委員会
先進事例から

社会文教常任委員会

10月16日（火）、17日（水）と4カ所、視察研修を行いました。

富山県　舟橋村

日本一が3つある村で、一つ目は、3・47㎢と日本で最も面積が小さい市町村（半径1キロくらいの面積と考えればよい）。二つ目が、若年層の比率が日本一高い。三つ目は、図書館、1000人あたりの貸し出し冊数日本一でした。若年層が多い理由は、富山市に近くて、地価が安いことで、若年層の移住が増えたことでした。町づくりのコンセプトは「つながり」で、住んだ後の安心感を売りにすべく、支えあいを大事にしていました。また、義務的な縛りのかかるコミュニティではなく、自由度の高いコミュニティにしていく考えでした。今後は、村が作って民間が運営するなど、設計施工から共同でやっていったり、住み替え支援、ICT子育て支援など、村独自で出生率を増やしながら、転入を増やしていく方針でした。ただ、増えすぎることにも危機感をいだいていて、将来の空き家を増やさないように、上限を決めて開発したいと語っていました。

家族で利用しやすい図書館

富山県　立山町

放課後子供教室と放課後児童クラブの一体的な取り組みを見てきました。担当係は分かれていましたが、所管はすべて教育委員会で管理していました。ただし、教育費ではなく、民生費で予算立てしています。放課後子供教室と放課後児童クラブが一体でスムーズにいっているのは、両方とも教育委員会の中に担当があるというところではないかと思いました。

学校も海外旅行客を歓待

富山県　魚津市　うおづスポラ

総合型地域スポーツクラブとして、「うおづスポラ」を見てきました。国体のために建設され、世界バレーも開催された「ありそドーム」の活用のために、「魚津市生涯スポーツプラン」が作られました。それを契機に、モデル事業として、体育協会が中心となって、総合型スポーツクラブがスタートしました。また、市の予算と企業のスポンサー、そして会員の出資により、体協を公益財団法人化し、ありそドームと総合体育館、運動公園の3つの指定管理業務を受託しました。「作るのはお金ではなく、人」という運営委員長の強いリーダーシップがどんどん人を巻き込み、それが推進力になったのだろうと感じました。

室内としては広く、2階にはトラックもとれている

長野県　信濃町　柏原保育園

信州型自然保育認定制度を平成27年に県が設置し、同年認定園として、柏原保育園が選ばれました。公立保育園は認定基準が22項目あり、それをすべてクリアしなければならない厳しい内容でしたが、今までやってきた保育園の方針が評価され、認定されました。園長の話では、保育士の思いを大事に、職員のつながりを大事にした保育をしていると語っていました。信濃町では、保育園も教育委員会の所管にしています。切れ目のない子育てという観点で、非常にやりやすい形だと思いました。

自然にあるものを活かして保育をしている

いま議会に求められるもの
第12回議会報告会

第12回議会報告会は、11月7日の東部上会場を皮切りに、12月1日の西部会場までの5会場で開催しました。参加者の皆様からは貴重なご意見、ご提言をいただきました。ご協力をいただきました関係の皆様に厚く感謝申し上げます。

主な質疑・提言

11月7日(水) 東部上 和合会館

質問 やまびこ広場改修で噴水は、冬場が大変だと思う。管理費を考えると必要なのか。

回答 噴水は6か月間使用する予定。水の経費は約50万円で消耗品その他を入れて計110万円と試算されている。

質問 空きホテルの放置は、所有者の責任ではあるが、行政が片付けなければ総合的に見て観光地として成り立たなくなるのでは。

回答 個人の財産であり法的処分は難しい。国には空き家対策特措法があるが、町では11月に空き家等対策協議会が立ち上がる。来年度に条例を制定してから本格的に動くという意向だ。

11月14日(水) 東部下 町文化センター

質問 「小中学生がテスト勉強する場所がない」という声がある。図書館はあるが、狭い。土日や放課後に気軽に利用できるオープンなスペースを作っていただきたい。

回答 放課後子供教室については町として対応していない。クーラーもあって自由に利用できるオープンスペースの要望として議会でも研究し、町にも要望していきたい。

質問 花火大会が中止になったが、議会として何らかの行動ができなかったのか。

回答 お金の問題に加え、要員の確保と警察からの規制が強まったことも要因。中止は残念だが、開催するためには町やボランティアの応援体制の再構築が必要。

11月17日(土) 南部 ほなみふれあいセンター

質問 管外視察にある魚津市のアスレチック施設のような施設は町にできないか。

回答 会員制のフィットネスクラブのような施設で、体協と教育委員会が連携して運営している。閉鎖中の町社会体育館は32年までの後期基本計画の中で検討となっているが、解体のみでは起債ができない。新社会体育施設のすがかわ体育館は総合的に見て、魚津市のような活用は難しい。

西部会場（よませふれあいセンター　12月1日）

11月18日(日) 北部 北部公民館

質問 楽ちんバスの夜間瀬駅乗り換えは不便。利用者の多い病院行きルートを工夫してほしい。

回答 一般質問でも乗り換えずに中野市への要望はしているが、現状は厳しい。広域的観点から地域振興局が中心となり公共交通対策会議で検討する動きがある。改善点について議会として働きかけていく。

質問 バスの回数券は役場だけでなく地元でも販売してほしい。

回答 いろいろな手段を考えるよう町に要望する（1月から北部公民館でも販売されるようになりました）。

12月1日(土) 西部 よませふれあいセンター

質問 将来を見据えて消防団は若い団員の負担が減るような組織になってほしい。

回答 大会出場を2年に1回にし、機能別団員を増やすなど負担軽減に取り組んでいる。大災害時にマンパワーが必要であり消防団はなくせない。部の統合という話も出ているが、各部には歴史や伝統があり、簡単ではない。消防防災委員会や議会を通じて団員確保、負担軽減を提言していく。

「議会に取り組んでほしい施策」シール投票結果（単位：人）　※参加者数とシール投票合計は一致しない会場があります。

各施設	会場	東部上	東部下	南部	北部	西部	計
	参加者数	34	40	18	23	54	169
① 観光商工振興策		18	11	3	1	2	35
② 農林水産業振興策		4	7	1	1	14	27
③ 子育て・教育施策		3	14	0	3	5	25
④ 高齢者・障がい者・健康福祉施策		2	4	8	9	13	36
⑤ 都市基盤・生活環境の整備（上下水道、道路、側溝など）		1	3	3	5	12	24
⑥ 行財政運営・行政サービスの向上（税、窓口など）		1	1	3	4	4	13

みんなのひろば

湯田中駅に「元気な花」花いっぱい―でおもてなし

湯田中駅を訪れると、そこかしこに四季折々の花のプランターが、観光客や住民の目を楽しませています。それを世話しているのが「フラワーネットワーク」6名の皆さんです。
今回はその皆さんにお話を伺いました。

ネットワークやまのうちから始まった

平成10年11月「山ノ内町女性議会」が開催されました。開催にあたり町内の女性団体連絡協議会を中心に「実行委員会」が組織され、それを母体として平成11年6月14日「ネットワークやまのうち」が誕生しました。
設立趣旨は、会員自らの意識と能力を高め、社会的に力を付け、あらゆる分野に参画し、生き生きと暮らせる社会を実現することでした。残念ながら、会員の高齢化・減少等のため平成30年6月やむなく解散に至りました。
関由美子さんから提案された花のプランター事業は続けていきましょうとの総意により現在「フラワーネットワーク」として引き継がれました。

心をこめての水遣り

花いっぱいのプラットホーム

会員の皆さんの思いは

小林　芳枝
お花の設置は全て私達の心でした。長い年月が過ぎて、95歳の私はタクシーで医者へいく時、それを受け付ける方が、「朝6時に必ず水をくれに見えたのに、もう95歳とは」と、声をかけてくださいます。人生は人と人のつながりの世界だとしみじみ懐かしく感じました。

小山内　明美
水遣りを始めて7年になります。電車ご利用のお客様や駅員さんから、「きれいだね、ありがとう」と声をかけられお話するのが私にとって楽しいひとときです。これからも春夏秋冬、季節の花の水遣りや手入れに関われたら幸いです。

友野　宏子
町の寄せ植え講習会で「山本裕美先生」からの指導で花が好きになりました。殺風景な駅もあり、湯田中駅に元気な花があることで、ほっと息がつけます。駅が花いっぱいになり、お客様が癒されるよう、これからも続けていきたいです。

青木　絹枝
夏の暑い日、花の水遣り当番に幼い孫と一緒に駅に行きました。駅の水をいただき「おもいおもい」と言いながら、楽しそうに水くれをしていました。花の好きな仲間のおかげで、今は大きくなった孫との楽しい思い出です。

上原　カツ子
外国の女性が寄せ植えの花を眺めていられ、私の水遣りをみてニッコリ、思わず「サンキュー」。でも、花鉢の中にタバコの吸い殻や、ガムが投げ入れられていたりして、残念な日もありました。湯田中駅も国際的になってきたので、マナーを守って花に目をとめていただきたいなー。

鈴木　治子
水遣りに携わって16年、自分の中では長いとも大変だったとも思へません。ごく日常的に淡々と続けられたナアー。今後も「フラワーネットワーク」の仲間がいる限り、駅に通える限り、続けていきたいと思っています。

湯田中駅職員一同の言葉

四季折々の花の水遣りやお手入れをして駅のイメージを高めていただいております。お客様や住民の方々は、大変喜んでおります。皆様には感謝申し上げます。

フラワーネットワークの皆さん

編集後記

昨年の秋頃から「平成最後の～」が聞かれるようになり、今年に入ってからも同じフレーズが、増えてきたようにおもいます。今年4月1日に新元号が発表されるようですが、5月1日までの間に「平成最後の～」と「新元号最初の～」が入り乱れての会話や報道がどんなふうに使われるのかが、楽しみでもあります。自分自身にとっても、元号が新しくなる機会をとらえて、高齢ながら社会との接点を持ちながら、何か新しいことにチャレンジをしていきたいと思います。
みなさまにとって良い年になるようお祈りします。